

## スタートアップ連携に本気な大企業、KDDIが首位

2018年3月8日 17:00 [有料会員限定]

スタートアップとの連携に本気な大企業はどこか——。経済産業省などが有力ベンチャー企業約200社に「ベンチャー連携を通じたオープンイノベーションに積極的に取り組んでいる大企業」を聞いたところ、1位はKDDI、2位はトヨタ自動車、3位はソフトバンクだった。上位にはスタートアップへの出資や協業に積極的な企業が並んだ。

調査は「イノベティブ大企業ランキング」として、スタートアップ企業と大企業を結ぶイベント「イノベーションリーダーズサミット」実行委員会と経産省が共同で実施。2017年11～12月に481社を対象に5社まで連記方式で聞き、218社から有効回答を得た。

1位のKDDIはスタートアップが同社を含む大手企業とともに新規事業創造を目指す「∞（ムゲン）ラボ」を実施している。コーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）の「オープンイノベーションファンド」を通じたスタートアップ投資にも積極的。17年にはあらゆるモノがネットにつながる「IoT」通信のソラコム（東京・世田谷）をKDDI本体が買収するなど、スタートアップとの取り組みや出資に前向きな企業として認知されている。



KDDIはソラコムを買収した

2位のトヨタ自動車は人工知能（AI）や自動運転の分野でスタートアップとの連携を進めている。AI開発のプリファード・ネットワークス（東京・千代田）と共同研究に取り組み、15年に同社に約10億円を出資。17年には約105億円を追加出資して話題となった。17年に米シリコンバレーにCVCの「トヨタAIベンチャーズ」も設立し、スタートアップとの連携に力を入れる。

3位のソフトバンクは10兆円規模の「ソフトバンク・ビジョン・ファンド」をサウジアラビアのファンドなどと共同で立ち上げ、海外スタートアップへの投資を本格化している。

このほか4位の富士通、9位の東京急行電鉄などスタートアップとの協業を目指す「アクセラレータプログラム」を実施している企業や、5位のNTTドコモや7位のオムロンのようにCVCを通じて積極的に出資している企業がランクインした。

（企業報道部 佐藤史佳）

### イノベティブ大企業ランキング

順位	企業名	得票率（%）
1	KDDI	6.4
2	トヨタ自動車	5.4
3	ソフトバンク	4.9
4	富士通	2.8
5	NTTドコモ	2.5
6	NTTデータ	2.3
7	オムロン	1.9
8	リクルートホールディングス	1.8
9	東京急行電鉄	1.5
10	ソニー	1.4
10	三菱東京UFJ銀行	1.4

（注：イノベーションリーダーズサミット実行委員会と経済産業省の共同調査。有力ベンチャー企業481社を対象に5社まで連記方式で聞き、218社から有効回答を得た）

**関連キーワード:** ソフトバンクグループ ソフトバンク・ビジョン・ファンド KDDI トヨタ自動車  
インターネット・オブ・シングス

---

#### 関連記事

- 大学発スタートアップ 経営人材や営業力に課題
- AIスタートアップ資金調達、中国が世界一 米国抜く
- 「IPOは急ぎません」 起業家たちの懐事情
- 日本企業のスタートアップ投資額、5年で27倍